

Two Sides to Every Discussion

英語で考え、英語で発信する

Jonathan Lynch

Kotaro Shitori



はじめに

近年の英語教育では、従来の文法を重視した「読むこと」・「書くこと」に代わり、「聞くこと」・「話すこと」を主体とするコミュニケーションの重要性が声高に叫ばれています。これがはたしてどのような結果をもたらすことになるのか、確かなことは現時点では推測の域を出ません。ですが、ただひとつ明らかなことがあります。それは、よく言われていることですが、英語は世界の人々と意思疎通を図るための単なるツールに過ぎないということです。

海外で生活すると切実に感じることもありますが、他者に向けて自分の意見を表明することは、自分がどんな人間なのかを相手に深く理解してもらうための最も有効な手段であると同時に、自分の存在を認めてもらうために避けて通れないものでもあります。確かに、協調性が過度に重んじられる日本では、自分の意見を持つこと、そしてそれを主張することは、必ずしも周囲から好意的に受け入れられるとは限りません。それは多くの帰国子女の皆さんが実際に経験していることでもあります。ですが、こうした状況は世界的に見ても極めてまれであると言わざるを得ません。

そうした意味でも、大切なのは近年の英語教育が目指している「英語が話せるようになること」ではなく、まずはその大前提として、「自分の意見をしっかり持つこと」なのです。ですから、「英語が話せるようになること」を一番の目標に設定する前に、まずは自分の内面とじっくり向き合って、人とは違うあなたらしい考えを持つことに意識の目を向けてください。それができるようになってから、英語というツールを使って発信できるように本格的に努力し始めても遅すぎることはありません。あなたが何者なのかを知ろうとする相手を前にして大事なことは、どう話すかではなく、何を話すかなのです。

本テキストには、「教育」・「スポーツ」・「ライフスタイル」・「科学技術」・「食文化」・「ファッション」といった実に多岐にわたる分野から、皆さんにとって身近な話題が数多く取り上げられています。これらのテーマを前にしてあなたはどうか考えるのか、ほかの人とは異なる独自の視点からひとつでも多くのユニークかつ説得力ある意見が出ることを、著者として楽しみにしています。

最後になりましたが、本テキストの出版に際し、(株)成美堂編集部の菅野英一氏には大変御世話になりました。この場を借りて心より御礼申し上げます。有難うございました。

Jonathan Lynch
委文 光太郎

本書の使い方

Vocabulary in Context

本文中で使用されている重要な単語や熟語が選び出されています。空欄に入るものを下の選択肢から選んでください。なお、わからない語句でも辞書は使わず、推測して答えてみましょう。

Reading

まずは、辞書を使わずに本文をひと通り読んでみましょう。そしてそれが終わったら、今度は辞書を使用して、わからない単語や熟語の意味を調べながら何度もじっくりと読んでみましょう。最後に、CDを聞きながら音読することをおすすめします。

Note

固有名詞や難しい語句の意味が説明されています。必要な時には参考にしてください。

Comprehension

本文の内容が正確に理解されているかを確認するための質問です。該当する段落の番号を空欄に書き入れた上で、for または against のどちらかを○で囲んでください。

Grammar Point

本文中で使用されている重要な文法事項が、簡潔に解説されています。本文を理解するための参考にしてください。

Writing

自分の意見が英語で書けるようになるための練習です。参考になる例文が数多く提示されていますので、難しいと感じたときはそれらを参考にしてください。

Listening Dictation

何の準備もなくいきなりCDを聞いて空欄を埋める方法も可能ですが、英文のおおよその意味を事前に理解したうえで音声聞くことをおすすめします。問題が難しい場合は、先生に頼んでCDを何回も聞かせてもらいましょう。

Speaking

毎回のテーマに基づいた会話モデルが提示されていますので、それを使用してクラスメートや先生にあなたの意見を伝えてみましょう。また、Writingで学習した表現もここで積極的に使用してみてください。

Column

毎回のテーマについてさらに深く理解してもらうために、短いコラムが載せてあります。時間があれば、ぜひ読んでください。

CONTENTS

Part I Education and Sports

- Unit 1** **University Entrance in Autumn** 1
 〈大学は秋入学にすべきである〉
- Unit 2** **High School Sports Clubs**..... 6
 〈高校の部活は厳しすぎる〉
- Unit 3** **Fingerprint Attendance System**..... 11
 〈授業の出欠には指紋認証を使うべきである〉
- Unit 4** **Foreign Sports Players**..... 16
 〈プロスポーツにもっと外国人選手を使うべきである〉

Part II Lifestyle

- Unit 5** **Experiences vs. Material Goods** 21
 〈物よりも経験を買う方が得である〉
- Unit 6** **First Date**..... 26
 〈初デートは男性がお金を払うべきである〉
- Unit 7** **Consumption Tax**..... 31
 〈消費税は 15% に引き上げるべきである〉
- Unit 8** **Female Pop Groups**..... 36
 〈女性アイドルグループは若い子に良い影響を及ぼさない〉

Part III Technology in Society

- Unit 9** **Social Networking Services** 41
 〈SNS は有益なメディアである〉

Unit 10	Using Smartphones while Walking.....	46
	〈歩きスマホは違法にすべきである〉	

Unit 11	iPhone vs. Android.....	51
	〈iPhone は最高のスマートフォンである〉	

Unit 12	Video Gaming.....	56
	〈ゲームで遊ぶのは時間の無駄である〉	

Part IV Food and Culture

Unit 13	Celebrating Foreign Festivals	61
	〈外国のお祭りを祝うのは悪いことではない〉	

Unit 14	Eating on the Train.....	66
	〈電車内でものを食べても構わない〉	

Unit 15	Ramen	71
	〈ラーメンは体に良くないので食べないほうがよい〉	

Unit 16	Bread vs. Rice	76
	〈朝食はご飯よりもパンである〉	

Part V Appearance and Personality

Unit 17	Blood Types.....	81
	〈血液型で人の性格は正しく分類できる〉	

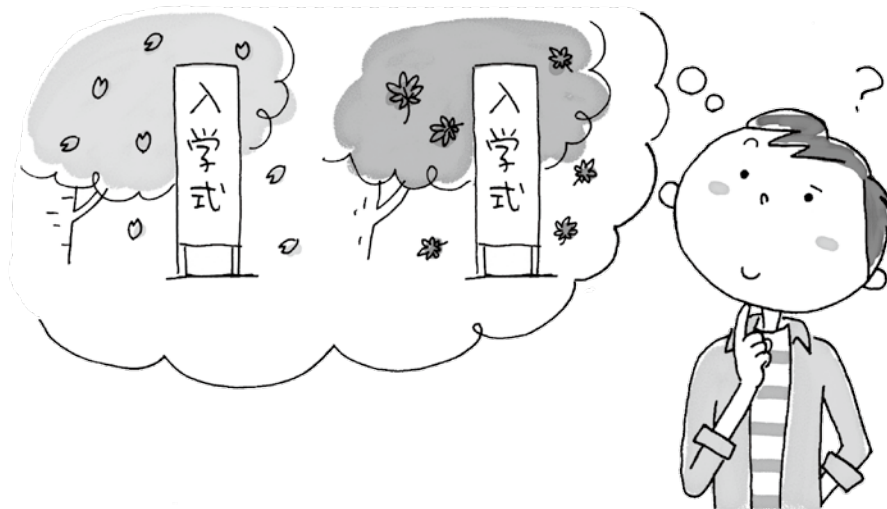
Unit 18	Cosmetic Surgery	86
	〈美容整形は悪いことではない〉	

Unit 19	Ear Piercing.....	91
	〈ピアスはするべきでない〉	

Unit 20	Wearing Perfume.....	96
	〈香水をつけるのは悪いことではない〉	

UNIT 1

University Entrance in Autumn



入学式といえば、桜が満開の春を思い出す人も多いでしょう。

ですが、日本のような4月入学は世界では少数派で、9月が主流です。

あなたはどちらが良いと思いますか。

Vocabulary in Context



次の下線部に入る語句を以下の語群から選んでください。

1. It is _____ to expect the university system to change quickly.
2. This freshman course will help to _____ your average TOEIC score.
3. English skills are _____ for students in this globalized world.
4. University students _____ study abroad if they have the chance.
5. This autumn, my club is going to _____ a performance for the school festival.
6. Finding a job is a(n) _____ challenge, but I will do my best.

ought to vital raise organize huge unrealistic

テーマ

大学は秋入学にすべきである



For

1 In Japan, the academic year starts in the spring. This is problematic and, in fact, should be changed.

2 Firstly, we must consider what is normal at universities in other countries. Data show that about 70 percent of universities around the world start their academic year in the autumn. Japan ought to change to the global standard.

3 Furthermore, because our schedule is different from foreign universities, it is difficult for Japanese university students to study abroad. If we synchronize our academic year with foreign countries, then Japanese students can more easily study at universities in other countries. Studying abroad is vital to help students gain a global outlook.

4 Finally, with this change, foreign students and researchers can more easily enter Japanese universities. More foreign people would internationalize our campuses and help to raise the quality of teaching and research.



Against

5 Some people suggest that the Japanese academic year should start in autumn. This is not a good idea for the following reasons.

6 Firstly, we must consider the Japanese character. In Japan, people organize their lives according to the rhythm of the four seasons. Spring is the season for us to start new things. The appearance of the cherry blossoms, the fresh green leaves and the warm weather all help to motivate new students.

7 Autumn, on the other hand, is the first step towards the bleak winter. Leaves fall to the ground, flowers wither and the days grow colder and darker. It is hardly the best season for a bright start to university life.

8 In addition, changing to an autumn start for universities would cause huge disruption. It would mean that elementary schools, junior high schools and high schools would also have to change, and therefore the proposal is unrealistic.

Note

academic year 学年(度) **problematic** 問題のある **global standard** 国際標準 **synchronize A with B** AをBと一致させる **outlook** 視野 **internationalize** ～を国際化する **rhythm** リズム **cherry blossom** 桜の花 **fresh green leaves** 新緑(初夏の頃の若葉の緑) **motivate** ～にやる気を起こさせる **bleak** 寒々とした **wither** 枯れる、しおれる **disruption** 混乱 **elementary school** 小学校

Comprehension



次の文は本文の内容を要約したものです。該当する段落の番号を空欄に書き入れて、for または against のどちらかを○で囲んでください。

1	Autumn is not a suitable season to start the academic year.	7	for	against
2	It is easier for foreign students to study in Japan.		for	against
3	Japanese students can more easily study abroad.		for	against
4	It is best to make our system the same as systems in other countries.		for	against
5	Changing the start of the academic year would cause a lot of trouble.		for	against
6	Spring is the best time to start something new.		for	against

Grammar Point



不定詞の意味上の主語 : **for** + **名詞** + **to do**

1. ... it is difficult **for** Japanese university students **to** study abroad.
2. Spring is the season **for** us **to** start new things.

1. は「～が…すること」を意味する名詞用法で、2. は「～が…するための」を意味する形容詞用法である。この他に「～が…するように」を意味する副詞用法がある(例を参照)。

例 The police officer stopped the car **for** the children **to** cross the street.

Writing



次の例文を参考にして、“**we must consider**…”の表現を学びましょう。

この表現を使用することで、自分の意見を主張することができます。なお、considerの後は名詞 (1. を参照) や名詞節 (2. を参照) などがきます。

1. Firstly, **we must consider** the Japanese character.
2. Firstly, **we must consider** what is normal at universities in other countries.

さらに詳しく意見を主張したい時は、以下のように書くこともできます。

3. **We must consider** the global standard. Most countries have an autumn start.

それでは、下欄の for か against を○で囲んで、空欄を英語で埋めてみましょう。

I am for / against this proposal.

We must consider _____

Listening Dictation



CD を聞いて次の空欄を埋めましょう。

1. We must consider the Japanese climate. ¹⁾() often ²⁾() Japan in September, so it is not a good time to start school.
2. Japan ¹⁾() has pleasant ²⁾() in autumn, so it is a good time to start school.
3. I want to spend a year studying ¹⁾(), so I think it might be a good ²⁾().

Speaking



次の会話モデルを使用して、クラスメートや先生にあなたの意見を伝えてみましょう。また、先ほど学習した表現も積極的に使用して下さい。



A Do you think the start of the university academic year should be moved to autumn?

B Yes, I think so. OR No, I don't think so.

A Why do you think that?

B [reason] _____

A OK. Anything else?

B Also, _____

A I see.

B How about you? What do you think?

A I (also) think it should. OR I (also) don't think it should.

B Why do you say that?

A [reason] _____



2012年に東京大学は秋入学への全面移行を目指しましたが、実施は当分見送るという結果になりました。ちなみに、あるデータによると日本の4月入学は世界的にもかなり珍しく、215カ国中、インドなどわずか7カ国だけのようです。

そもそも日本はなぜ4月入学なのでしょう。西洋から教育が導入された明治時代初期の入学時期は、実は9月でした。しかし、1886年に政府の会計年度が現在と同じ4月開始に変更されると、学事暦もそれに合わせることが望ましいと考えられるようになりました。さらに、同じ年の徴兵令改正によって、軍への入隊届出期限が9月から4月に早まると、師範学校に優秀な生徒が集まらないかもしれないと危惧する声が出てきました。こうした事態を避けるためにも、現在のような4月入学に徐々に移行していったと言われています。